

令和7年度 学修等に関するアンケート結果と今後の改善について

学生の皆さんへ

このたびは「令和7年度学修等に関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。皆さんからいただいた貴重なご意見は、今後の教育や学生支援の改善に活かしていきます。

令和7年度調査（令和8年1月～2月 Web アンケートにて実施）の主な結果と、大学としての今後の取組についてお知らせします。

■ アンケート結果から分かったこと

皆さんの回答から、次のような傾向が見られました。

- 授業のわかりやすさや専門的な学びについては、全体として一定の評価が得られている
- 将来の仕事や資格取得に向けた意識は高い
- 一方で、授業時間外の学習（予習・復習など）は十分とは言えない傾向がある

■ 特に評価が高かった点

- 授業における教員の工夫や指導
- 専門分野に関する知識や実践的な力の習得
- 就職や進路に関する支援や情報提供

■ 今後の改善が必要と考えられる点

- 授業外での学習時間や自主的な学びの充実
- 論理的に考える力や文章力などの基礎的な学習力の向上
- データの活用や国際的な視点に関する学びの充実
- 学生の意見が大学の教育改善にどのように活かされているかの見える化

■ 今回の結果を受けた新たな教育に関する取組

今回のアンケートでは、

- データサイエンスに関する学び
- 海外研修などの国際的な学び

について、さらに充実が必要であることが分かりました。この結果を受けて、大学では次の取組を進めています。

- データサイエンスに関する新しい授業を今年度から開設
- 学修内容をより分かりやすく評価する仕組みの整備
- カリキュラム全体の見直し（現在進行中）
- 国際的な学びの機会（海外研修等）の充実に向けた検討

これらの取組により、今後の授業ではデータを活用する力や、より実践的で幅広い学びの機会が充実していきます。

■ 個々の学修力をサポートする主な取組

また、今回の結果を踏まえ、次のような改善を進めていきます。

- 履修や学習方法に関するガイダンスの充実(担任・SG 教員によるガイダンスや個別アドバイス、先輩在校生によるサポート体制の試み)
- 授業と自主学習をつなぐ仕組みの改善(課題や学習支援の見直し)
- レポート作成や文章力向上に関する指導の強化
- 学生の意見を反映した改善内容の積極的な発信

■ 学修環境・学生生活に関する主な取組

今回のアンケートでは、教室や自習スペース、Wi-Fi、図書館、食堂、売店、運動施設など、学修環境や学生生活に関するご意見もいただきました。今回の結果を踏まえ大学として次のような取り組みを進めます。

- 教室、実習室、自習スペースなどの学修環境について、利用しやすさや設備面の改善を検討
- 無線 LAN (Wi-Fi) など、学内での学修に必要な環境の改善に向けた状況確認
- 図書館、食堂、売店など、学生生活に関わる施設について、関係部署と連携した改善の検討
- 運動施設や課外活動に関する環境について、利用状況や安全面を確認しながら、学生委員会等と連携して検討
- 学生センター窓口での案内や各種手続きについて、より分かりやすく、相談しやすい対応となるよう改善

施設や設備に関するご要望の中には、すぐに対応できるものと、予算や施設管理上、中長期的な検討が必要なものがあります。大学では、いただいたご意見を関係部署で共有し、できるところから順次改善に取り組んでいきます。

多くの学生が将来の目標を持ち、学びに取り組んでいることが分かりました。大学として、より学びやすい環境づくりを進めていきますので、ぜひ主体的な学びに取り組んでください。